

**講演会****演題 眠れぬ大地**

～「地図から消された島」大久野島の歴史に学ぶ～

**講師 毒ガス島歴史研究所代表 山内 静代 先生**

広島県竹原市忠海町の沖に浮かぶ周囲4キロの「大久野島」は「うさぎの島」として多くの観光客が訪れる美しい島……。1929年、旧日本陸軍は毒ガス製造を始めた。毒ガスは当時、国際条約で使用が禁止されていた兵器だったため、秘密を厳守させた。そのため、大久野島は戦争中、地図から消された。この島で製造された毒ガスは5種類、製造した量は約6,616トンにおよんだ。大久野島で働いた人は約6,700人で、その中には動員学徒として、この島に連れて来られた男子中学生と女学生、約1,000人が含まれていた。そのほとんどが毒ガス障害を受けた。また、旧日本軍は使用禁止の毒ガスを中国での実戦に密かに2,000回以上使用した。戦後の杜撰な処理や遺棄により、今なお、被害はあとを絶たない。被爆地ヒロシマからわずか60キロの地に、実は戦争加害の毒ガス製造工場があった……。

山内先生は、竹原市の住民の一人として、仲間とともに毒ガス島歴史研究所を立ち上げられました。体験者の聞き取りや調査研究をされ、平和ボランティアとして多くの人々に大久野島の歴史の事実を伝えられています。

戦後70年目の今日、地元佐用の歴史を紐解き、次の世代に何を残さなければならぬのか、ともに考えてみませんか？

**2015年7月31日（金）**

**受付 12:30～**

**講演会 13:10～15:10**

**さよう文化情報センター**

**（申込不要・入場無料）**

★みなさま、お誘い合わせの上、ご来場ください★

**主 催：兵庫県教職員組合佐用支部**  
**問い合わせ先：佐用教育会館 TEL82-2507**



毒液の抜き取り作業(戦後)



大久野島毒ガス資料館